

個人ワーク・グループワーク 検討結果

「ボランティアによる在宅高齢者の生活支援制度について」

項目	検討内容
事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたの生活支え隊 ・地域で元気に暮らし隊 ・地域で生き生き暮らし隊 ・いきいきサポーター養成事業 ・持続可能な生活サポート事業 ・いきいき応援団 ・お互い様～ず ・ほっとサポート事業 ・ご近所お互い様サポート事業 ・いきいき生活応援サポート事業 ・〇〇生活サポート事業(〇〇をほうこく、ピオーネ、さんじゅーろー など) ・生活支援応援事業 ・生活支援安心サポート事業 ・笑顔で在宅支え隊事業 ・生活支援さんじゅーろーサポーター事業 ・スマイルふれあい事業 ・お困りごと解決サポーター ・高梁お互い様サポーター ・高梁ありがとうサポーター ・×梁を入れる ・生活支援の言葉を入れた方がわかりやすい
ボランティア 従事者	<ul style="list-style-type: none"> ・基準が高い。養成講座全科目受講は大変。オンラインでの講座やPVを見ることで受講したことにすればいい。 ・「高梁市在住」を外してもいい。在勤、在学も可とすればいい。 ・小学生などのジュニアサポーターの設定をしてもいい。
利用対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定を受ける前から利用している人は、要介護になっても利用可としているが、要介護の人の外出支援は介助が必要となる。 ・妥当
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・安すぎて頼みにくい、反面毎週使うと高い。 ・回数が多い人は安くなるシステム。回数券購入で何枚かお得になるシステム。 ・300円/30分の他事務費を支払ってもらってもいい。 ・利用料金と活動費が同じで分かりやすい。 ・現金のやり取りはトラブルになるのでチケット制がいい。 ・支払いは口座引き落としがいい。 ・総合事業より割高だが、介護保険のヘルパーができないことも支援するという付加価値があるので300円/30分がいい。
ボランティア活 動費	<ul style="list-style-type: none"> ・事務費を100円引いてもいい。

支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門チームをつくる。例えば大工OBなどで「生活環境コーディネーターチーム」をつくり、軽微な住宅改修。「おしゃれ支援チーム」は、ヘアメイク、服のコーディネートなどの活動。 ・ 外出支援は必要。 ・ シルバー人材センターの活動内容と重複する草取りなどは外してもいい。 ・ 見守り、話し相手は必要。 ・ ヘルパーができないことも支援できることをアピールする。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養成講座に車の乗降支援内容を入れる。 ・ 既存のサービスとの区別がつくように広報を。 ・ 支援内容がイメージしやすいようにイラストややさしい日本語で広報を。